

2026年10月吉日
生活協同組合コープさっぽろ
広報部

北海道ロジサービス 2026年度ロジスティクス大賞 「業界革新奨励賞」を受賞

～日本初「エルゴローディングシステム」による荷役負担軽減と効率化の実現～

生活協同組合コープさっぽろ（以下、コープさっぽろ）の物流関連会社である北海道ロジサービス株式会社（以下、HLS）は、公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会が主催する、第43回 2026年度ロジスティクス大賞 の「業界革新奨励賞」を受賞いたしました。

本賞は、物流の高度化に向けた優れた事例を顕彰するものであり、HLSの取り組みは「自動化＝省人化」という単一の目的を超え、多様な人材が長く健康に働き続けられる「持続可能な現場」の構築を目指した点が評価されました。

受賞対象となった取り組みは、日本初となる「エルゴローディングシステム（ELS）」の導入による、荷役負担の大幅な軽減と効率化の実現です。HLSは、コープさっぽろの全道113店舗への供給を止めることなく、20年稼働した40本のケースソーターを刷新するという高難度のプロジェクトを完遂しました。

つきましては、以下のとおりお知らせいたしますので、取材のほどよろしくお願いいたします。

【概要】

■ 取り組み内容

「重力からの解放」と人間工学に基づく現場改善

【課題と背景】

- ・ 既存設備の老朽化と、10kgを超える荷物を扱う「垂直荷役」による作業者の身体的負担が課題となっていました。
- ・ 従業員の高齢化（60代が最多）が進む中、労働寿命の延伸と「持続可能な物流現場」の構築が急務でした。

【解決策と革新性】

- ・ 日本初の「エルゴローディングシステム（ELS）」を株式会社ダイフクと共創し導入しました。
- ・ 従来の「垂直（抱え上げる）」動作から「水平（スライドさせる）」動作へとパラダイムシフトを起こし、荷役負担を劇的に低減しました。

【困難な施工の完遂】

- ・ 全道への供給を維持するため、年間313日稼働の現場で「止まらない施工」を実施し、20ヶ月間で設備を刷新しました。

■ 改善後の成果

「コストパフォーマンスと波及効果」

- ①省人化とコスト削減: かご車積付人数を18名から6名へと大幅に削減し、年間約5,634万円の人件費削減を達成。

- ②サプライチェーンの最適化: 通路別仕分けの実装により、店舗側の品出し時間の削減に寄与。
- ③汎用性の高いモデル: 2024年問題をはじめとする労働力不足に対し、最新技術と人間工学を融合させた「優しい物流」の実現を示す、社会実装可能な汎用モデルを提示。

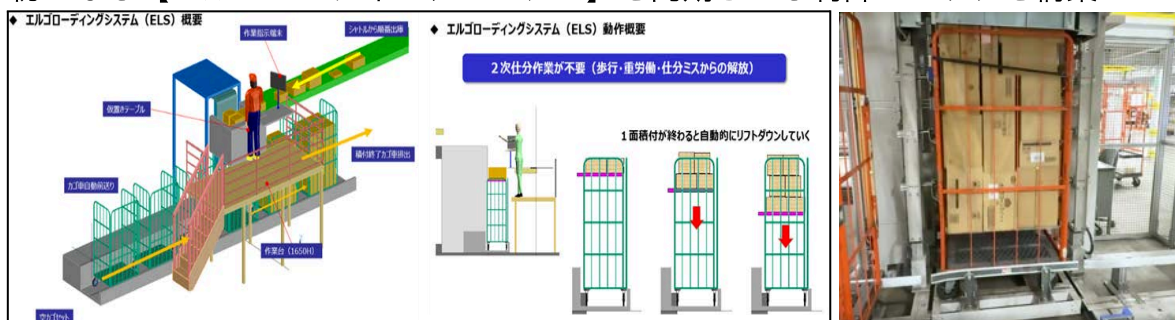


- ・一般耐用年数を超過した旧仕分け設備（20年経過）を更新
- ・10kgを超える荷物を「繰り返し垂直荷役」が常態化し、高い作業負担が問題になっていた

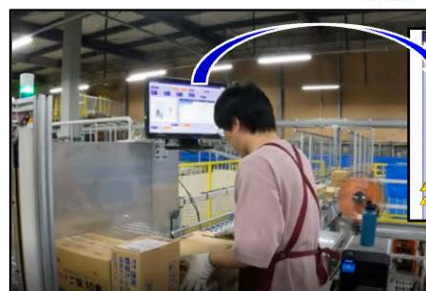


- ・デッドスペースの活用（既設倉庫の空間を利用）
- ・出荷作業を続けながら段階的に設備入替を実施（打合せ期間：30ヵ月202回、工事期間：20ヵ月）

多種多様な商品を、店舗の納品棚割に合わせて積み付けを実現する為、ケースシャトルと日本初となる【エルゴローディングシステム】を同期させる制御ロジックを構築



エルゴローディングシステム全体図と出荷カゴ台車への自動積み付け



- ・従来の持ち上げる動作から、商品をスライドさせる動作への移行⇒身体的負担の大幅改善
- ・商品の重量・サイズデータをタイムリーに試算し、店舗毎に最適なカゴ車積み付けを実現

■会社概要

社名：北海道ロジサービス株式会社 事業開始日：2013年4月1日 資本金：8,500万円

従業員数：1992名 道内物流センター：22か所 （2026年9月現在）

URL：<https://www.hokkaidologiservice.co.jp/>

【報道関係のお問合せ先】

生活協同組合コープさっぽろ 広報部 小林恵莉・前田楓華

〒063-8501 札幌市西区発寒11条5丁目10-1

本件に関する詳細質問または取材などのお問い合わせはこちら：<https://forms.gle/um8Q5LnNEH9D7oQc9>